

◎百戦錬磨やナーブなど4社、民泊で協業

集合住宅のインターネット接続サービスを手掛けるギガプライズ（東京・渋谷区、梁瀬泰孝社長）、スマートロックを開発するユーエムイー（UME、港区、内野雅和社長）、VRサービスを提供するナーブ（千代田区、多田英起社長）、民泊運営を行う百戦錬磨（仙台市、上山康博社長）の4社は、15日から施行される住宅宿泊事業法に合わせて協業する。

百戦錬磨の展開する民泊施設に、ギガプライズのインターネット接続サービス、UMEのスマートロック、ナーブのVRを導入する。インターネット接続環境が整っており、暗証番号や登録ICカードでの開錠が可能なスマートロックを設置した利便性の高い民泊施設を供給する。百戦錬磨は、民泊予約仲介サイト「STAY JAPAN」を運営している。ナーブは、STAY JAPANに掲載する物件情報や街並みの紹介でVRデータを提供する。遠隔地の民泊物件の内部や、農家体験の様子などを、VRによる仮想体験を通じて分かりやすく伝える。